



さわやか八中

H28 学校だより No.12
平成 29 年 2 月 1 日
文京区立第八中学校長
神保 道隆

オリンピック・パラリンピアン一日校長先生

2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催まで、3 年半となりました。多くの種目が東京都で競技を行いますが、ゴルフやサッカーなどいくつかの種目では埼玉県・神奈川県・宮城県・北海道の会場を使うことになっていたり、検討したりもしています。それに伴って、メイン会場となる国立霞ヶ丘競技場やその他の会場の改修工事や整備が着々と進んでいます。

学校でもオリンピック・パラリンピックの理解を深め、世界中から訪れる選手・コーチ・応援団や観光客をもてなすための準備を進めることになっています。その一つが、16 日(木)の午後行うオリンピック・パラリンピアン一日校長先生です。

一日校長先生としてお出でいただく富田洋之先生、順天堂大学スポーツ健康科学部スポーツ科学科助教で体操競技部のコーチであり、国際体操連盟の男子技術委員もされています。体操選手として 2004 年アテネオリンピック団体で金メダル、2008 年北京オリンピック団体で銀メダルの成績を残されました。アテネオリンピックの鉄棒で後方伸身 2 回宙返り 2 回ひねり(伸身の新月面)の着地をピタッと決め、金メダルを決定的にしたシーンに、日本中が感動したことを覚えています。また、2007 年世界選手権では最も美しい演技をする選手に贈られるロンジン・エレガンス賞を日本で初めて受賞されています。

すばらしい成績を残された方から、オリンピックにまつわる数々のお話を直接伺うことができる貴重な機会です。しっかりと話を聞くだけでなく、オリンピックや日ごろの練習などについて質問し、生きた答えが返ってくると、本当にいい経験になるでしょう。

とうきょうの教育第 110 号中学生版より

「とうきょうの教育 第 110 号中学生版」が 1 月下旬に配信されました。その 1 面に「家庭で子供たちとどのくらい会話をしていますか?」というタイトルで、次の記事が掲載されています。家庭での家族との会話が、学力を高めるうえで大きな要因になっているということです。

平成 28 年度「全国学力・学習状況調査」の際に行われた児童・生徒質問紙調査の結果から、子供の学力向上や基本的生活習慣の定着には、学校だけではなく、家庭での取組も重要であることが分かりました。

◎学力向上のためには、主体的・対話的な学習活動を通して考えを深め、広げることが大切です。

自分から進んでもものごとに取り組んだり、仲間と話し合いをする中で自分の考えを深め、広げたりすることが大切です。

◎「家の人と学校の出来事について話をしている」子供ほど正答率が高い傾向にあります。

学校と家庭が互いの教育について理解を深め合い、一体となった取組を進めていくことが大切です。

家庭での会話の多い生徒ほど正答率が高い傾向にあります。

「Q 一家のひとと学校の出来事について話をしますか?」

家庭での会話	国語B平均正答率	数学B平均正答率
している	71.4%	47.4%
どちらかといえばしている	69.0%	46.1%
あまりしていない	65.5%	43.8%
全くしていない	58.8%	37.6%

3年生に

《 2月の予定 》

1月には私立・都立高校の推薦入試が行われましたが、いよいよ今月は入学試験も大詰めです。みなさんにはこの日のために蓄えてきた力を存分に発揮してもらいたいと思っています。

そこで、3年生には進路通信や相談室だよりにいろいろなアドバイスが載せられていますが、スポーツの世界を例にしてアドバイスを一つ。

みなさんもよく知っているノルディックスキー女子ジャンプの高梨紗羅選手。スキージャンプワールドカップ歴代最多勝利の53勝にあと4勝と迫り、日本で行われた1月の札幌大会・蔵王大会の4試合で記録に並び、新記録達成も目前と思われていました。しかし、札幌では2位と4位。蔵王でも5位と2位。4試合の内3試合の優勝は伊藤有希選手となりました。それまで圧倒的な強さを見せていたのに、なぜでしょうか？

高梨選手の札幌大会でのコメントを読んでもみると、記録達成を目前にした緊張感がいつもの力を発揮

するのにマイナスに働いたように思います。ジャンプで大切な「踏み切り」のタイミングが微妙にずれてしまったのです。適度の緊張は必要ですが、意識しすぎるとプラスの面がなくなってしまいます。昔から言われている「平常心」で臨むことの難しさと大切さを改めて感じました。

また、大相撲の正月場所は大関稀勢の里の優勝で幕を閉じ、その後、稀勢の里関は横綱に推挙されて盛り上がりました。ところで、中日を過ぎて勝ち星を重ねている関取に対し、テレビや新聞などのマスコミが「〇〇関、絶好調」とか「優勝に向け盤石」と報道し始めると、あっけなく敗れてしまうことがよくあるような気がしています。稽古に稽古を重ねて臨んだ本場所で「今場所、自分は調子がいいぞ、誰と対戦しても負ける気がしない。」と思い込んでしまうと、心に「隙(すき)」ができるのでしょうか。やはり適度の緊張感が必要なのです。

これはスポーツの世界に限ったことではありません。「いつもと同じであること」と「適度の緊張があること」のバランスは入学試験でも大切です。蓄えてきた力を100%いや120%発揮することができるよう「心の準備」もお忘れなく。

1日(水)	職員会議	レベルアップ 教室 14:50
2日(木)	都立高校推薦発表	
3日(金)	2年校外学習(鎌倉)	
5日(日)	中学生東京駅伝大会(味の素スタジアム 9:30)	
6日(月)		
7日(火)	全校朝礼 安全指導 3年都立高校一次出願	
8日(水)	3年都立高校一次出願	レベルアップ 教室 14:50
9日(木)	公立学校美術展覧会(都美術館)~14日	
10日(金)	1年校外学習(都内巡り) 3年私立高校入試始	
11日(土)	建国記念の日	
12日(日)	千駄木フェスティバル(文林中 9:00)	
13日(月)		
14日(火)	学年朝礼	PTA 役員会・実行委員会 18:00
15日(水)	職員会議	レベルアップ 教室 14:50
16日(木)	オリンピック・パラリンピアン一日校長先生⑤⑥	
17日(金)	数学検定試験㊦	
18日(土)	土曜授業公開 新入生入学説明会 11:45	
19日(日)	文の京クリーンウォーク(第三中 9:00)	
20日(月)	学年末考查1週間前	学習教室 1
21日(火)	全校朝礼	学習教室 2
22日(水)	各種委員会㊦	
23日(木)		学習教室 3
24日(金)	3年都立高校一次入試	学習教室 4
27日(月)	学年末考查(数学・理科・音楽)	
28日(火)	学年末考查(英語・社会・美術)	
3/1(水)	学年末考查(国語・技家・保体) 職員会議	